



滋賀大学へのご寄附のお願い

本学では『滋賀大学基金』を設置し、学生の教育・研究、国際交流、修学、課外活動支援、データサイエンス教育研究の高度化など、滋賀大学を幅広く支えていただくご支援をお願いしています(税制上の優遇措置の対象です)。
皆さまの温かいご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『滋賀大学基金』の種類

一般基金

- ・学生の教育・研究や国際交流活動、イノベーション・コモンズ形成、彦根高商創立百周年記念事業、ウクライナ支援募金など、大学全般に対する幅広いご支援

(以下、特定基金：特定目的へのご支援)

修学支援事業基金

- ・経済的な理由で修学が困難な学生に対するご支援

スポーツ・文化活動基金

- ・学生の課外活動に係るご支援(特定の部活動への支援を指定可)

データサイエンス基金

- ・データサイエンス教育研究の高度化に係るご支援

経済学部基金

- ・経済学部における教育研究活動に係るご支援

附属学校園いまを生きる基金

- ・教育学部附属学校園の教育環境充実をはじめ、教育活動に係るご支援

藤村泰子記念基金

- ・障害児者の音楽教育・音楽活動に関するご支援

詳しくは寄附金ホームページをご覧ください。

<https://www.shiga-u.ac.jp/kikin/>

〈お問い合わせ先〉

滋賀大学基金室(広報課内)
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1番1号
TEL 0749-27-1004 FAX 0749-27-1129
E-mail kikin@biwako.shiga-u.ac.jp



滋賀大学広報誌 Vol.57

しがだい

[発行日] 2023年4月

[発行] 国立大学法人 滋賀大学

[編集] 滋賀大学広報部会

須齋 正幸(理事・副学長)

神部 純一(教育学部)

村田 透(教育学部)

松田 有加(経済学部)

宮西 賢次(経済学部)

杉本 知之(データサイエンス学部)

西山 さよ(広報課)

滋賀大学広報課広報係

〒522-8522 彦根市馬場1丁目1番1号

TEL 0749-27-7524

E-mail koho@biwako.shiga-u.ac.jp



アンケートのお願い

「しがだい」のより充実した誌面づくりのために、WEBアンケートのご協力をお願いいたします。



学生広報サポートチーム考案
カモンちゃんLINEスタンプ販売中!



LINE STOREを
チェックせよ!



カモンちゃん

日本の開国を主導した井伊直弼公をモチーフにした滋賀大学公式キャラクター。名前は直弼公の官位、掃部頭(かものかみ)に由来しています。滋賀大学に“come on”という意味も掛けられています。本学学生が在学中に取り組み生み出されました。

SHIGA
UNIVERSITY
Public
information
magazine

しがだい



SHIGA UNIVERSITY



2023年、
彦根高商百周年
次の100年に向けて新しい1ページをここから

彦根キャンパス 陵水会館



彦根キャンパス「滋賀大学大学院Future Class Room」にて

滋賀大学長
竹村 彰通

Profile

1952年生まれ。1976年東京大学経済学部卒業、1978年東京大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史学専門課程修士課程修了。米国スタンフォード大学統計学部客員助教授、米国パーデュー大学統計学部客員助教授、東京大学経済学部教授、東京大学大学院情報理工学系研究科教授を経て、2015年5月滋賀大学に着任。2017年4月から滋賀大学データサイエンス学部長、2022年4月から現職。

学長メッセージ

彦根高商百周年を迎えて

創立時の理念を継承し、社会課題の解決への貢献を

滋賀大学の前身である彦根高等商業学校は大正12年(1923年)に開校しました。今年は開校から100年の節目を迎えます。彦根キャンパスの象徴的な建物である講堂や陵水会館は当時の雰囲気を残しています。このような伝統的な建物が残っているキャンパスは国立大学の中でも大変珍しいものです。

100年前といえますと、我が国が明治維新後、大正に至り、国力が飛躍的に発展した時代です。その中で、専門性の高い人材養成の必要性から、近江の地から全国に活動を展開し活躍した近江商人を多く輩出した彦根の地に、高度職業人の育成を理念として彦根高商が設立されました。開校以来、日本社会において、特にその経済活動を支える多くの有為な人材を輩出してきました。

そして、創立100周年を迎える今、世界はビッグデータやAIなどが普及した新しい産業構造への転換や、コロナ禍にみられるリスクへの挑戦等の新たな課題に直面しています。大学にも、社会とより密接な連携をし、複雑な社会課題の解決への貢献が求められています。彦根高商の流れを受け継ぐ本学経済学部と2017年に開設された日本初のデータサイエンス(DS)学部は、その創立時の理念を継承

し、新時代を切り拓くべく革新を図っています。より具体的には、国内最高のDS教育・研究拠点としての機能強化、経済領域とDS領域の融合による新しい「ビジネスサイエンス」の展開と普及を進めていきます。大学院レベルでは、文部科学省の支援を受け、経済×DS及び教育×DSの新たなプログラムを開始します。

100周年の成功に向けて、彦根キャンパスの同窓会である陵水会の皆さんからは熱い支援をいただいております。100周年は、卒業生の方々が大学が支援を受けるのみならず、大学から卒業生の方々の生涯教育に役に立つコンテンツを提供し、卒業生との新たな関係を築く機会にしたいと考えています。また、100周年のさまざまな行事は、現役の学生の皆さんが卒業生と交流する良い機会にもなると思います。新入生の皆さんも100周年に関する行事を通じてキャンパスの歴史と伝統を身近に感じてもらえると思います。

彦根キャンパス100周年の後には、2025年に大津キャンパスで附属学校開校150周年を迎えます。こちらも是非成功させたいと考えています。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

学長メッセージ

01 彦根高商百周年を迎えて

滋賀大学長 竹村 彰通

巻頭特集

03 2023年、彦根高商百周年

次の100年に向けて
滋賀大学の新しい1ページをここから〈座談会〉

07 100周年を記念して さまざまな事業を展開

09 しがだいChallengers

卒業生インタビュー

13 輝く卒業生たち

ソニーグループ株式会社 松尾 静香さん
ダイハツ工業株式会社 饗庭 拓真さん
湖南市立三雲東小学校 芦田 知晃さん

16 国際交流の学内制度と施設 さまざまな価値観に触れる機会を

17 ニュース&トピックス

学生広報サポートチーム企画

19 滋賀大生の日常 PICK UP!

shiga-uni リアルタイムしがゆに

21 CLUB & CIRCLE クラブ&サークル



学生広報サポートチーム活躍!
広報誌の記事企画(P19、20)やカモンちゃんLINEスタンプ考案(裏表紙)など大学の広報活動を学生自線でサポートしています。一緒に活動したい方は本学HPをご覧ください。

春の彦根城

次の100年に向けて 滋賀大学の新しい1ページをここから

滋賀大学の源流は、明治・大正時代、近江の地に誕生した2つの学校。

そのひとつで、1923年に開校した彦根高等商業学校は経済学部の前身です。

「士魂商才」という建学の精神は、滋賀大学経済学部にも受け継がれ、2023年に100周年を迎えました。

そこで、竹村彰通学長と3学部の学生たちが集まり、その歴史と文化を背景に、

「未来創生大学」として進化を続ける滋賀大学の魅力と展望について、語り合いました。

※新型コロナウイルス感染対策に配慮して実施しました。
※学年は2023年3月時点

卒業生の功績から 歴史の厚みを実感

竹村 皆さんは学生生活を送る中で、滋賀大学の歴史や伝統を感じたことはありますか。

伊藤 私は入学直後に開催された新入生オリエンテーションで、彦根キャンパスにある滋賀大学経済学部附属史料館を訪れました。そこで、近江の経済の変遷や近江商人の歩みなどの展示を見学したのですが、伊藤忠商事、丸紅という2つの大手総合商社を創業した伊藤忠兵衛が近江の生まれであり、彦根高等商業学校の創立にも関わったことを学びました。伊藤忠、丸紅の名前は耳にしたことがありましたが、近江、滋賀大学に縁があることに驚き、歴史ある大学で学べることを誇りに思いました。

川岸 私も入学してから教育学部が経済学部と同様に歴史があり、明治時代に創立された滋賀県師範学校が前身だと知りました。教育学部がある大津キャンパスの図書館の蔵書の多さに驚き、そこからも歴史の長さが伝わってきました。教育関連の書籍が古書から新書まで豊富に揃っているの、資料探しがスムーズに進み、勉強がいつそうはかどりました。

もう一つは、教育学部出身の方がさまざまな教育機関で活躍されているので、教育実習や教員採用試験対策講座で直接教えていただく機会が多々ありました。伝統と

実績の恩恵を受けることができ、ありがたいと思います。

伊藤 卒業生の活躍は、経済学部も同様で、就職活動中、数多くのOB・OGの方と出会い、そのつながりで別の卒業生や企業を紹介いただくこともありました。中には大手企業の経営者の方もいらっしゃって、いろいろな話を聞く機会に恵まれ、勉強になりました。

栗野 データサイエンス学部(以下DS学部)は2017年に誕生した新学部ですが、経済学部と非常に親和性の高い学部です。DSに対する昨今の社会の期待値の大きさに加えて、滋賀大学と経済学部の実績もあって、授業では実際の企業で活躍されている数多くの方が、外部講師として社会や経済でのDSの活用法、重要性について教えてくださいました。私は3期生ですが、1期生が社会で活躍している姿を知ることでもできました。私たちも追隨して、DS学部独自の新たな歴史を作っていきたいと思っています。

竹村 皆さんがさまざまなことから滋賀大学の歴史と伝統を実感してくれて、うれしく思います。卒業生たちは学生のロールモデルであり、滋賀大学の歴史を築く「人財」です。卒業生が活躍してこそ、滋賀大学がめざす社会貢献が叶い、外部講師招聘やインターンシップ、共同研究をはじめとする地域・社会連携もいっそう進んでいくと思います。



滋賀大学経済学部附属史料館

(写真左から)

竹村 彰通 学長

2015年、滋賀大学に着任。データサイエンス教育研究推進室教授、データサイエンス研究センター長・教授を経て、2022年4月から現職。

栗野 志穂

データサイエンス学部 4回生
洛北高校(京都府)

川岸 潤花

教育学部 4回生
宇治山田高校(三重県)

伊藤 ユウキ

経済学部 4回生
甲府南高校(山梨県)



彦根高等商業学校が開校した翌年(1924年)に建築された滋賀大学講堂(彦根キャンパス)。登録有形文化財

知見も視野も広がった 独自の学びと活動

竹村 滋賀大学は「未来創生大学」として新たな改革を進めています。皆さんは4年間で進化や変化を感じることはありましたか。

栗野 進化というか、学びのスタイルそのものが変わったというのが、コロナ禍によるオンライン授業ではないでしょうか。先生への質問や学生同士でのディスカッションは慣れるまで苦労しました。

川岸 私も対面であれば問題のなかったやりとりがスムーズにできないと感じることがありました。一方、復習や課題のために、オンデマンドで配信される授業の動画や先生が作成された資料をいつでも見ること

ができるのは大きなメリットだと思います。

伊藤 そうですね。私は遠方にある実家からオンライン授業を受けていたので、どこからでも学ぶことができるという大学の効率化が進んだことを強く感じました。

竹村 必要に迫られてのオンライン授業の導入でしたが、教える側、学ぶ側のインフラが整ったと思います。現在はオンラインと対面のハイブリット型授業も行い、学生がさらに学びやすい環境整備を進めています。そして、改革のひとつとして、2022年度からは全学部で「数理・DS・AI教育プログラム」を必修化するなど、新たな学びも始まりました。そこで皆さんにとって、「滋賀大学だからこそ実現した」学びや得た知見について教えてください。

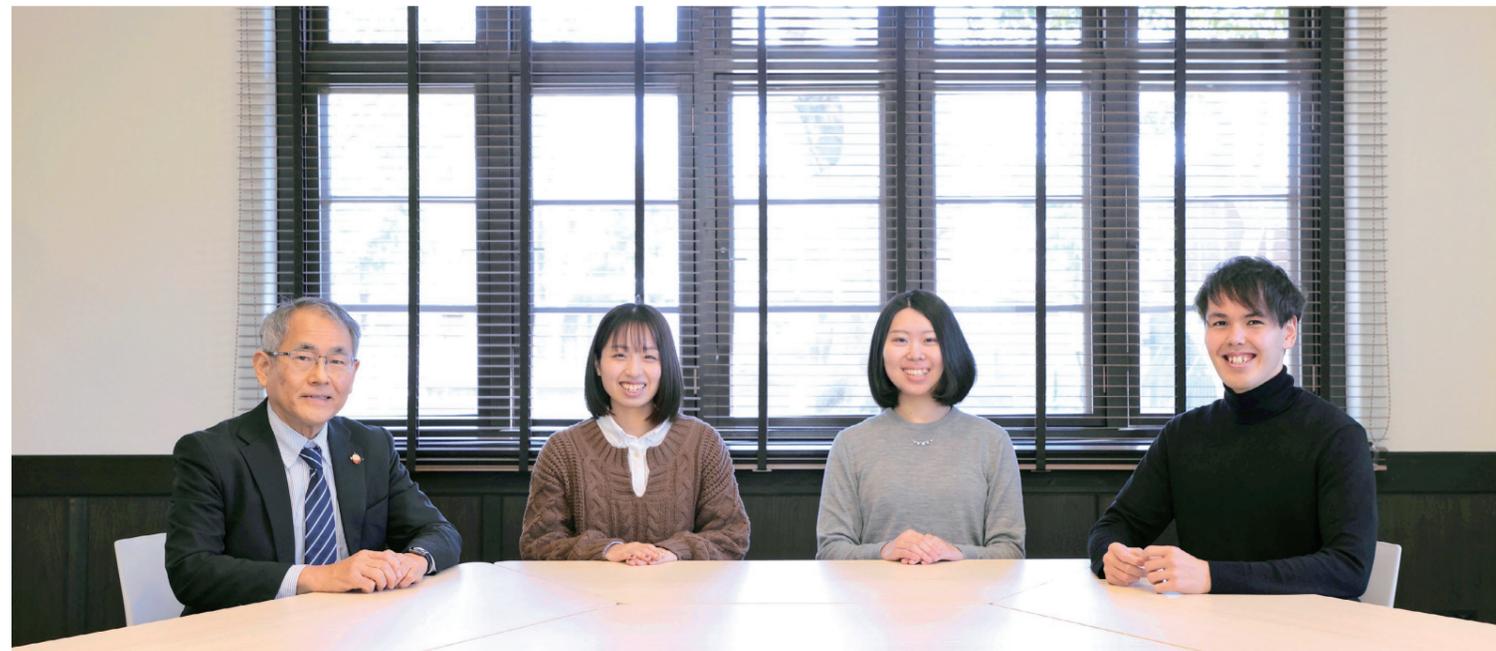
彦根高商から経済学部へ

滋賀大学経済学部の前身は、1923年に開校した彦根高等商業学校です。その歩みを簡単にご紹介します。

- 1875
小学校教員伝習所設置
(のちの滋賀県師範学校)
- 1922
彦根高等商業学校設置
- 1923
彦根高等商業学校開校
- 1949
滋賀大学が開学 ←
- 経済学部と学芸学部(現在の教育学部)の2学部制。
経済学部は経済学科と経営学科の2学科体制でスタート。
- 1972
経済学部に管理科学科設置
1990に情報管理学科に改編。
データサイエンス学部の創設にともない学生募集を停止。
- 2017
データサイエンス学部創設



大正時代の正門(彦根キャンパス)



座談会は2022年に耐震工事改装が終了した彦根キャンパスの陵水会館で実施しました



滋賀大学の代表として 企業、社会で貢献

竹村 これから滋賀大学での学びをどのように活かしていきますか。

川岸 私は教育実習やCISの活動を通じて、相手の立場に立って物事を考え、多様性を理解すること、コミュニケーションをしっかりと取ることの大切さを学びました。これは子どもの成長や教育にも重要で、きちんと伝えていくにはどうすればいいのかを考えた結果、学校の教壇ではなく、児童施設の教員として勤務することを選択しました。教育学部で学んだことを活かし、子どもに寄り添い、成長を支えていきたいです。

伊藤 私は入学時に学んだ伊藤忠兵衛の存在もきっかけとなり、春から総合商社で勤務することになりました。宮西賢次先生のゼミで高めてきた財務諸表分析や企業価値評価などの専門性と、DSの授業や株式投資研究会で身につけた知見を活かし、日本を強くすることが目標です。というのも、物心ついた時から日本が世界で勝っている感覚がなく、大学で学ぶ中で、経済においても日本の優位性が低下していることを痛感したので。

栗野 私は食品メーカーの情報企画部門に専門職採用で内定をいただきました。就職活動を通じて、多くの企業でDX化が加速し、DSの知見を持つ人材が求められていることを実感しました。DS学部の学生は、知識としてだけでなく、実社会におけるデータの活かし方を身につけてきたので、それを発揮していきます。

竹村 現在、栗野さんの採用のように、企業では仕事や部門に対応する専門性を有した人材を獲得する「ジョブ型採用」が主流になってきました。滋賀大学は3学部とも専門性を極める環境が整っているので、これからの採用にも対応していけると思います。また、卒業後の進路や働き方として女性活躍の支援、アントレプレナーシップの醸成による滋賀大学からの起業もいっそう推進していきたいと考えています。

伊藤 経済学部は履修科目の範囲や選択の自由度が高いので、DS学部の授業も履修しました。Z世代と呼ばれる今の学生にとってデータは身近な存在であり、それが社会で活用されていることは当然のことと理解しています。なので、DSが全学部で学べることは、滋賀大学の新たな強みになるのではないのでしょうか。

竹村 そうですね。経済分野だけでなく、例えば小学校でプログラミングが必須化されるなど、教育分野でもデータの活用が進んでいるので、教師になる学生もDSの知見が必要になってきます。

栗野 私は大手企業でデータサイエンティストとして活躍されていた河本薫先生のゼミに所属し、連携する企業の実データを使った新たな活用法の構築や課題解決に取り組んできました。データを実際にどのように活かすかを学べたことは、これからの大きなプラスになったと思います。

伊藤 経済学部の団体「株式投資研究会」に所属し、株式の勉強を通じて経済への理解を深められたことも、滋賀大学だから

こそ。この会にはDS学部の学生も所属していて、共にプロジェクトに取り組むことで知見が広がりました。

川岸 私は教育学部の国際交流サークル(以下CIS)に所属し、滋賀大学への留学生との交流や国際理解を深めてきました。コロナ禍で思うようにいかないこともありましたが、オンラインで交流会を開催したり、留学生の相談に応えたり、海外にルーツを持つ子どもと接する機会もありました。学業と並行して充実した活動ができ、視野が広がったと思います。

伊藤 私は3回生の時に海外へ留学しましたが、たしかに異なる文化、価値観に接すると視野が広がりますね。

竹村 「未来創生大学」の取り組みでは、「グローバル」も掲げています。伊藤忠兵衛をはじめ、近江商人の多くは湖国に密着しながら、全国、そして世界へと羽ばたき、成功を収めました。ですので、学生の多くに国際交流を通じて、世界にも目を向ける近江商人のスピリッツが継承されているのはうれしく思います。



「つながり」を強固に 次の100年に邁進

竹村 最後に、「未来創生」のためにこれからの滋賀大学への期待、要望を聞かせてください。

伊藤 コロナ禍の影響で失われつつあった、学年や学部の枠を超えた縦・横のつながりを再構築してほしいです。私が入学した時は、滋賀大学で伝統的に続く、クラブやサークルの新入生勧誘イベント「とおりゃんせ」が彦根キャンパスで開催されていました。その時に声をかけてもらった先輩や知り合った同級生は、大学生活で大変頼りになりました。とくに先輩からは、授業の内容や履修の方法などを教えてもらい、その後の学びに役立ちました。

川岸 教育学部ではコロナ禍でも先輩たちによる相談会が開催されていて、履修のアドバイスや教員実習、採用試験の情報収集のサポートをいただき、助かりました。

栗野 私はバスケットボール部に所属していたので、縦・横のつながりを持っていましたが、それ以外につながりの機会がなか

ななくて……。滋賀大学は全学で交流を図るのにちょうどいい規模や人数ですよ。今後は3学部が授業はもちろん、授業以外でも交流できる機会があると、学生の学びや成長にいい相乗効果を生むのではと思います。

竹村 コロナ禍で導入されたオンラインの活用は距離的・時間的制約がなく、効率化も図れます。ただ、学生同士、教員と学生の対話や絆の構築においては、Face to Faceのつながりも不可欠だと、誰もが気づいたのではないのでしょうか。オンライン授業でも双方向の仕組みを作り、対面の授業で行われていた流れや、学生からの質問などに応じて、黒板・ホワイトボードに板書していたようなアナログ的要素もいかに取り入れるかが、これからの教育や教員に求められるのではないかと考えています。

伊藤 滋賀大学の先生も卒業生も素晴らしい方ばかりです。在学生も新入生ももっと貪欲に学んで知見を習得し、全学部とのつながりも構築してほしいし、先生方も滋賀大学と滋賀大生、そして卒業生に期待してもらえると嬉しいです。



竹村 そういう言葉は私たちへの励みになります。今後は卒業生にとっても滋賀大学が学び・交流の場となることをめざして、生涯教育や転職・起業支援なども構想しています。

栗野 リカレント教育には興味があります。また卒業生として何かできることがあれば協力していきたいです。

竹村 今、地方国立大学には「地方創生」が求められています。大都市集中による地域の産業・経済の担い手不足といった課題において、大学では人材派遣、共同研究といった解決、貢献できる要素が多々あります。そのために、県内の商工会議所や教育委員会などの連携を一段と深めていきます。次の100年に向かって、滋賀大学は歴史や伝統も大切に、教員と学生、卒業生、そして地域とつながり、新たな取り組みにおいて未来創生、地方創生を実現します。



同窓会組織「陵水会」

経済学部とDS学部、各学部大学院の教育・研究活動への支援、学生の就職活動への支援、「陵水奨学金」「グローバルリーダー育成陵水奨学金」の給付のほか、学生の諸活動の支援、実業界における同窓生の連携と幅広く活動している。

陵水会館 / 彦根キャンパス(座談会の会場)

彦根高等商業学校の同窓会館として、1938年建築、設計は建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ。スペイン風ゴシック様式の建物は、滋賀大学経済学部・DS学部の同窓会組織「陵水会」に引き継がれ、1997年に「文化財建造物」として登録された。2022年に耐震工事改装が終わり、セミナールームなどを有する未来志向の空間は、統計エキスパート育成事業の拠点となっている。



2023年、彦根高商百周年 100周年を記念してさまざまな事業を展開

彦根高等商業学校の開校100周年を迎えるにあたり、記念式典をはじめとするイベントや、教材の開発・公開など、多彩な事業を進めています。



彦根高商のDNAを引き継ぎ新たな100年へ

経済学部 学部長 中野 桂

滋賀大学経済学部は、前身である彦根高等商業学校の創立から「経世済民(世の中をマネジメントして人々をたすける)」を学ぶ場として発展し、今年で100周年を迎えます。「士魂商才」の精神を重んじ、実学を実践してきた彦根高商ですが、この「彦根高商のDNA」を引き継ぎながら、新たな100年を生き抜く人材の育成に取り組みます。具体的にはAIやデータサイエンス教育の強化とデザイン思考やアート思考を含むリベラルアーツ教育の拡充です。例えば、100周年記念事業の一環としてビジネスサイエンスに関するフォーラム開催やMOOC教材の作成を行いました。また専門分野を入学後に決定する「レイトスペシャライゼーション」を導入するなどの学部改組も行いました。こうした取り組みを通じて、「データ」と「人間社会」の両方を見る目を駆使して、人々に幸せをもたらすことのできる次の100年の人材育成に務めてまいります。

東京で「滋賀大学ビジネスサイエンスフォーラム」開催

2022年11月、東京の日経カンファレンスルームで「滋賀大学ビジネスサイエンスフォーラム」を開催しました。「データサイエンス・AI」が切り拓くビジネスイノベーション」をテーマに、米国のバブソン大学で情報技術と経営学を担当する学長付特別教授・ダベンポート氏による記念基調講演のほか、招待研究報告、パネル・セッションを実施しました。フォーラムは滋賀大学と同窓会組織である陵水会の共催によるもので、会場には企業を中心に約100名が来場、ウェビナーをあわせて約400名に参加いただきました。

Society5.0社会におけるビジネスデータ活用と産業界との連携による人材育成について語り合ったパネル・セッション



企業から特別講師を迎えて「現代の経営」を開講

滋賀にルーツを持ち、彦根高商設立時に支援いただいた企業から特別講師を招いて、講義「現代の経営」を実施。2022年秋学期には、伊藤忠商事(株)副社長の小林文彦氏による、同社の理念である「三方よし」理念の実践経験をふまえた講義、丸紅(株)の元代表取締役会長、名誉理事の朝田照男氏による総合商社におけるリーダーシップと持続可能な社会の実現に関して講義があり、学生たちは熱心に話を聞いていました。

講義をする小林文彦氏(左)と朝田照男氏(右)



社会人のための「ビジネスサイエンスMOOC」を開発・公開

Society5.0社会を担う経営者やニューリーダー、起業を考える人々を対象にリスキリング教材「社会人のための滋賀大学ビジネスサイエンスMOOC講座パッケージ」の開発・公開に取り組んでいます。マーケティング、リスクマネジメント、アルゴリズムなど幅広い視点からデータサイエンスの知識、スキルを学べるのが特徴で、受講登録をすれば無料で利用することができます。2022年11月には第一弾として、「マーケティング」「企業リスク管理のためのリスク計量化入門」「ビジネスのための統計学入門」の3講座を公開しました。

ビジネスサイエンスMOOCの詳細はこちら



ビジネスサイエンスMOOCの講座パンフレット

最新情報は「百周年記念事業サイト」を

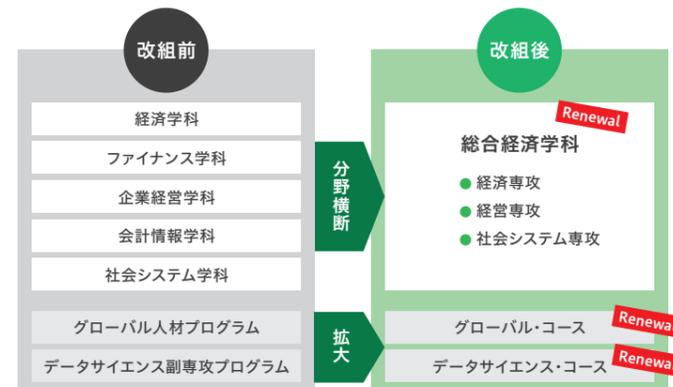
イベントや、彦根高等商業学校と経済学部の歴史などを紹介する「百周年記念事業サイト」を開発。在学生や卒業生にはもちろん、広く社会にデジタル時代をリードする滋賀大学を発信していきます。記念事業は随時更新。ぜひご覧ください。

百周年記念事業サイトはこちら



経済学部は新たなステージに。 従来の5学科を2023年度から 「総合経済学科」に統合

これまで受験時に選択していた5学科を2023年4月から「総合経済学科」に統合しました。3回生進級時に「経済専攻」「経営専攻」「社会システム専攻」から選択することで、学びのミスマッチを避けることができます。また、グローバル社会、データ社会での活躍をめざす学生への学びの体制も拡大。これからの経済学部にご期待ください。



「滋賀大学基金」への ご寄附のお願い

滋賀大学の教育研究成果を次世代につなぐ事業を企画しています。記念フォーラム、式典を実施するほか、加速するデジタル時代で求められる新たなビジネススキルを修得するための事業は、学生だけでなく社会人に向けた内容も展開。「滋賀大学基金」では「一般基金(彦根高商創立百周年記念事業)」で、当事業へのご支援をお願いしています。

滋賀大学基金の詳細はこちらをご覧ください



「百周年記念式典」を 開催予定

2023年11月4日(土)、滋賀大学彦根キャンパスで「百周年記念式典」の開催を予定しています。詳細は決まり次第、大学Webサイト、百周年記念事業サイトでご案内します。

しがたい

Challengers

進むべき道を信じて、学業や課外活動に励む学生たち。
挑戦し、成長したその姿には、自信があふれています。



プロバレエダンサーから
小学校教員をめざす



教育学部

荒木 秀生 千里青雲高校(大阪府)

ロシア国立ノボシビルスク・バレエ学校
(ロシア・ノボシビルスク州)

My challenge

複数の 教員免許状 の取得

新型コロナの自粛期間が 新たな学びのきっかけに

高校卒業後にロシアの国立バレエ学校に留学し、ディプロマを取得しました。バレエ学校卒業後はロシア国立エカテリンブルクバレエ・オペラ劇場に就職しましたが、新型コロナウイルスの自粛期間が自分の将来を見つめ直す機会となり、もう一つの夢であった教員をめざす思いが芽生えました。そのなかで、外国で感じた互いの考え方や価値観、文化を理解する難しさ、その違いを認め合う重要性を子どもたちに伝えたいと考え、国際理解教育に興味を持ちました。将来、子どもたちに国際的視点の大切さを正しく伝え、柔軟な発想力や思考力を育むサポートができるよう、日々学んでいます。

国際理解教育のために 多方面の知識の修得を

大学生活での目標は、複数の教員免許状の取得です。主免許の小学校のみならず、副免許で中学校、高校の美術科や社会科なども取得できるように履修していますが、バレエの仕事や塾講師のアルバイトをしながら、さまざまな科目の教員免許状を取得することの難しさを痛感しています。しかし、この目標を実現できれば、国際理解教育に必要な多面的に物事をとらえること、またそのための知識を獲得することができると思うので、全力で取り組んでいきたいです。



経験を活かして企業課題の解決を

データサイエンス学部

宮島 康祐 平塚江南高校(神奈川県)

My challenge

アカペラライブの開催

ライブ開催への原動力は アカペラを伝えたい思い

コロナ禍で活動が制限されたなかでも、できる限り楽しく、かっこよく活動する先輩方にあこがれ、アカペラサークル「DecorateBox」に入部し、代表として年間9回のライブを企画、運営しました。コロナによって途絶えていた対面でのライブをもう一度開催して、より多くの人にアカペラやサークルの活動を知ってもらいたいと思いました。ただ、アカペラは大きな



声を出す必要があります。そこで、感染対策をしながら安全で楽しいライブにする方法を考え活動してきました。

シミュレーションを重ね 生の歌声を届ける

サークルの運営メンバーと飛沫対策や感染者が出てしまった場合の対応などについて大きな音楽ライブの活動を調べたり、何度も話し合いやシミュレーションを重ねたり、安全性を確保しつつライブとしてお客さんに楽しんでもらう方法について考え、実践しました。その結果、滋賀大学の講堂や琵琶シティ彦根でのライブなどで生のアカペラをお客さんに届けることができました。今後も後輩たちが素敵なライブやイベントを開催してくれるので、ぜひ活動をのぞいていただくと嬉しいです。

My challenge

データ分析

ビジネスの問題解決を データ分析で支援

ビジネス×データサイエンスを軸に、多くの企業に協力いただき、データ分析を用いた問題解決に取り組んでいます。小売店のマーケティング施策立案、通信教育の顧客ターゲット、製造不良の原因追及、製造現場の異常検知、予約サイトの



に担当教員が仰った「データ分析は、人の意思決定を代替するものではなく、支援するものである」という意識が、今では自然と身につけていると感じるようになりました。

コロナ禍でやり遂げた 主将の経験は財産

また、3年生まではバスケットボール部の主将を務めました。コロナ禍真っ只中であり、思い描いていた活動ができずに苦勞しました。そんななかでも、チームメイトと協力しながら最後までやり遂げた経験は自分だけの財産であり、今後の糧になると考えています。卒業後はコンサルティング会社に就職する予定です。ゼミで培ったビジネス力とデータ分析力や、部活動で得た経験を活かし、常に期待以上の課題解決ができるように精進していきます。



アカペラの魅力を広めたいと企画

経済学部

高橋 萌寧 岡崎北高校(愛知県)



データを活用した地域活性をめざす
データサイエンス学部
清水 優里 高松第一高校(香川県)

大学や企業の話から公共交通に興味を抱く

進路について迷っているときに『マネーボール』という映画を父に勧められました。データを活かした選手獲得による野球チーム再編の物語で、データを活用することによって経験だけでは得ることのできない成果が得られることに興味を持ちました。また日本で初めてのデータサイエンス学部が滋賀大学にあると知り入学を決めました。授業では大学・企業の方のお話を聞くことが



※データサイエンス学部では、特別招聘教授として在籍している他大学の先生のゼミを履修することも可能。

My challenge

まちづくり

でき、業界への視野を広げることができ。なかでも私は公共交通に魅力を感じ、名古屋大学の先生のゼミを履修しました*。

政策視察で得た地域貢献という目標

特に印象的だったことは地元である香川県三豊市の政策視察に同行させていただいたことです。地域内外の人が盛り上げる観光名所や、「行きたいときに行きたいところへ行けるまち」をめざす行政の姿を見ることができ、まちの維持に関わる多くの人の存在を知りました。そこで私はまちづくりに携わりたいと感じ、データサイエンティストではない進路を選択しました。データ分析を学んできたからこそできる、今までにない新たなデータの活用を通してさまざまな地域の盛り上げに貢献していきたいです。

My challenge

滋賀県社会教育委員

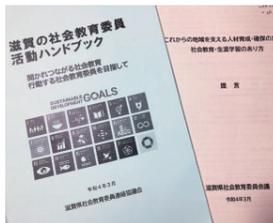
地元の社会教育に学生視点の意見を

滋賀大学での学びのなかで、学校と地域の連携に興味を抱くようになりました。そして、地域での教育にも目を向けるようになり、社会教育について学び始めました。今は社会教育士の資格取得に向けて学んでいます。社会教育を学んでいるという、歴史や地理などの社会科だと捉えられることがありますが、社会教育とは、学校や家庭での教育を除いた社会で行われる

教育のことです。行政の社会教育委員は、それらについて研究調査・審議を行っています。学生の自分だからできることを考え、滋賀県社会教育委員公募に応募しました。滋賀県社会教育委員として学生視点で意見を述べることで、より多くの人に滋賀県で行われている社会教育事業が広まればと思います。

地域連携の大切さを活動を通じて体感

教育を学校だけで捉えるのではなく、より広い視点で考えられるよう取り組んでいきたいです。また、滋賀県社会教育を学ぶなかで、より一層、学校と地域の連携の重要性に気づかされました。その気づきを忘れず、子どもたちの学びをより豊かにするために、これからも学び、挑戦していきます。



社会教育で子どもの学びを支える
教育学部
原田 恵実 虎姫高校(滋賀県)



看護師から社会人選抜で美術の道に
教育学部
千野 恵梨子 東大津高校(滋賀県)

My challenge

海外インターンシップ

2カ国への渡航は夢を叶える第一歩

将来の目標を「国際的に活躍すること」と定めたものの、これまでの人生で海外渡航の経験はありませんでした。そこで、大学在学中に海外インターンシップに挑戦することで鍛錬し、土台を整えようと思いました。渡航国はコロナの感染状況や国際情勢を鑑みて、多民族国家のマレーシアと、ビジネスの機会あふれるタンザニアの2カ国に決めました。



戦い続けたトラブルが大きな経験と自信に

マレーシアのインターンでは、留学エージェントの企業で、世界中の依頼人と現地の学校の橋渡しを務めました。仕事に対する価値観の違いに振り回されることも多々ありましたが、現地の同僚とタッグを組み、あらゆる課題を解決しました。タンザニアでは、日用品メーカーで工場長を務めました。製造工程全体の生産性の向上が任務でしたが、工員間の能力差と文化面の衝突に苦労しました。さらに、工場の停電や虫の大量発生が頻発し、安定した生産が難しい状況も起きました。そんな中、全工程で管理シートの導入や、生産方針を定めて目標にコミットした結果、生産目標を達成できました。インターンを通して、かけがえのない経験と、大きな自信を手に入れました。

My challenge

美術を通じた社会貢献

後悔のない人生を考え社会人を経て大学へ

幼少期から絵やデザインに興味があり、大学では美術を学ぼうと考えていました。しかし、高校3年生の秋、親友の大切な人が亡くなったのを機に医療の道を志し、看護師に。訪問看護師として“療養者が最期までその人らしく、後悔の少ない人生”を送るための一助となれるよう勤務する一方で、私が最期に後悔するなら何かを自問自答した時、「美術を通して人の役に立ち

たい」と考えるようになりました。そして、仕事と並行して画塾へ通い、滋賀大学の社会人選抜を受験。美術教員養成課程に入学しました。

広い視野を持って社会に役立ちたい

現在は小学校と中学校美術、特別支援学校の教員免許取得をめざし、教員や看護師という枠にとらわれず、“美術を通して何ができるか”を模索。例えば、ヘルスケアアートの研修に参加したり、アートセラピーを取り入れている放課後等デイサービスでボランティアをしたり、ワークショップに参加したりしています。“美術は正解も間違いもない”がゆえに難しさを実感していますが、感謝の気持ちと“自分自身が楽しむこと”を忘れず、私らしい社会への貢献の形を考えていきたいと思っています。



国際社会での活躍に向けて経験を蓄積
経済学部
中村 勇樹 明和高校(愛知県)

輝く卒業生たち

Profile

ソニーグループ株式会社

松尾 静香さん

岡山県出身。2020年3月滋賀大学経済学部企業経営学科卒業。同年4月ソニーグループ株式会社入社。グローバル経理センター国内経理2部固定資産管理課所属。高校時代まではテニスに打ち込み、大学では学業外でも自己研鑽を積みたいと、女子バスケットボール部のマネージャーに。一からルールを覚え、指導者の資格を取得。身につけたコーチングやマネジメントの力も業務に役立てている。

つねに厳しい環境を選択 知識習得と自らを鍛え抜いた4年間

専門性の高い分野で職務を 果たす責任とやりがいの日々

現在はソニーグループ株式会社やソニー株式会社を含む4社の固定資産領域の経理業務を担当しています。請求書処理のような日々業務はもちろん、会計ルールの差異調整や、決算資料作成、税務申告、その年度特有のプロジェクト対応に従事することもあります。

最近担当したのは、特定資産の課税所得に関する圧縮記帳のプロジェクトです。関係部署や税理士、会計士と連携しながら、税務や会計ルール、会計システムの変更に応じた新しい業務プロセスを構築していきました。専門的な知識が求められるハードなプロジェクトでしたが、グループ内での経理・固定資産のスペシャリストとして、私に任せていただいたことは大変うれしく、大きなやりがいをもって遂行していくことができました。

卒業後に進むべき道が 拓けたゼミでの学び

私が経理・会計・財務の仕事に就くことを選択したのは、大学で所属していた宮西



賢次先生のゼミで財務諸表分析や企業価値評価などを学んだことがきっかけです。宮西ゼミは、財務諸表分析に関わる分野で高い専門性を身につける必要があり、学生に求められる水準もハイレベルですが、私はあえてその環境に飛び込み、自らを鍛えていきました。宮西先生の指導はもちろん、仲間との切磋琢磨の甲斐もあり、財務諸表分析の手法やデータ分析のセンスに加えて、ディスカッションやプレゼンテーション、コミュニケーションの能力も身につけ、現在の業務に活かされています。

学生時代の取り組みの すべてが人生の糧に

私は大学入学前から、世界のどこへ行っても仕事ができるような人間になりたいと考えていたので、1年休学し、海外留学

に挑戦しました。まず、語学力を向上させようと渡ったのが英語を話すスピードが世界屈指といわれるニューヨークです。現地では語学学校での授業と並行して、通信回線販売のインターンシップにも取り組みました。企業や店舗を単独で訪問し、セールストークを行うことで、語学力だけでなく、何事にも動じず挑む勇気や忍耐力も鍛えられた気がします。さらに、ニューヨークからカンボジアに渡り、物流会社でのインターンシップを経験。先進国と新興国という異なる側面を持つ国での就業を通じて、社会や多様な人びとに対する視野や思考も広がりました。あえて厳しい環境に身を置き、自己研鑽を積んだ滋賀大学での学生生活は、私の人生の礎になりました。大学時代、何か一つでも打ち込むことを見つけて全力を注げば、自分の自信と人生の糧になるはずだと



Profile

ダイハツ工業株式会社

饗庭 拓真さん

滋賀県出身。2022年3月滋賀大学データサイエンス学部卒業。同年4月ダイハツ工業株式会社入社。5月よりコーポレート統括本部DX推進室データサイエンスグループに配属。同社が掲げる「データ・AIの民主化」に向けて、工場でのAI導入とキーマン育成などを担当。ゼミ活動を通じて完成させた卒業論文「打音検査に用いる機械学習モデルの開発と評価検証」は令和3年度優秀卒業論文に輝いた。

誰もが運用できるAIの実装化が目標 対話と学びを大切に課題解決に邁進

企業の課題解決に 学生時代からチャレンジ

在学中、もっとも力を入れていたことは、所属する河本薫先生のゼミでの企業連携型PBLです。3年生、4年生の2年間で、6つの企業のビジネス課題を解決するためにデータ分析を行いました。その一つが現在、勤務するダイハツ工業のプロジェクトです。部品などの異常を音で判定する打音検査を、音声データとAIによって分析・検知するモデルの開発に挑みました。実際にハンマーで部品を叩いて正常・異常音をレコーディング。それらを正確に判別できるよう、機械学習させました。こういった解決のためには、まず課題を発見することが重要です。さらに新たな視点でのデータ分析、そしてモデル構築のベースとなる有効なデータの収集のためにアナログな作業や関わる人びととのコミュニケーションも欠かせ

ないと感じました。継続的に考察・分析結果を企業の方に直接フィードバックいただけたことも、データの分析力と収集力、実社会に必要なビジネススキルの習得につながったと思います。

より使える・役立つAIを 現場と一丸となって構築

現在の重点業務は、製造ラインでのAIの実装化です。工場での課題を発見・検証し、有効なAIを構築していきます。この時、私がすべて行うのではなく、現場のスタッフも共に携わり、最終的には現場の一人ひとりがより有効なAIを構築、実装化できるようにすることも目標としています。また、いくら高精度のAIが完成しても、現場の誰もが使うことができれば、意味がありません。社会人になって、データサイエンスやAIは課題解決のためのツールであることを再認識しました。皆で



作り上げたAIが工場に実装化され、課題解決を図れていることはもちろんですが、スタッフの一人ひとりに「使いやすい」と評価いただくことが何よりうれしいです。

データサイエンスの知識と スキルをつねにアップデート

私はデータサイエンスという新たな分野にこれからの可能性を感じて、滋賀大学データサイエンス学部に入學しました。社会のあらゆる領域でDX化が急加速する今、あの時の判断は正解だったと思います。しかも、学部は実社会との接点が多岐あり、データサイエンスを「ビジネス視点」で学べたことは、私の大きなアドバンテージになっています。なので、データサイエンス分野に興味がある人は、滋賀大学で学ぶことをおすすめしたいです。また、この分野は“今日の最新技術が明日にはもう古い”というほどのスピードで発展しています。つねに新しいメジャーにのって行くには、学びを止めないことも必要です。私もビジネスデータサイエンティストとして向上心をもって、学び続けていきたいと思っています。



湖南省立三雲東小学校

芦田 知晃さん

Profile

京都府出身。2020年3月滋賀大学教育学部教員養成課程教育文化専攻卒業。同年4月湖南省立三雲東小学校着任。滋賀大学が琵琶湖の湖畔、彦根城の眼下にあり、「環境教育」について学べることに惹かれて進学。在学中には伝統、実績がある漕艇(ボート)部に入部。学業や教育実習などに忙しい中、厳しいトレーニングメニューをこなし、数多くの大会に出場。好成績を収めた。

教育そのものの理解を深めて小学校教員に 子どもの人としての成長に力を尽くす

子どもの言葉が 教師への道を後押し

私は人に物事を伝えたり、勉強を教えたりすることがうまいと言われることが多く“教師という仕事に向いているのではないか”と漠然と思い描いていました。高校に入り、進学先を考える時期に、ちょうど小中学生に勉強を教える機会がありました。そこで生徒たちから、「担任の先生になってくれたらうれしい」という言葉をもらい、教師になることを決意。滋賀大学教育学部に入学しました。

子どもと高齢者が関わる 「生涯学習」について追究

当初は、苦手だった数学を好きにさせてくれた高校時代の恩師のように、数学教師をめざそうと考えていました。一方で、教育そのものの在り方や子どもとの関わり

り方、また学校経営などについても知りたい思いが強く、教育全体について学ぶことができる教育文化専攻を選択。授業では「生涯学習」について力を入れて学びました。子どもの教育においては、学校や教師だけでなく、保護者や地域との連携・協働が重要です。私はとくに子どもと高齢者と関わりに着目し、両者をどのようにつないでいくかの考察を重ねました。在学中はコロナ禍の影響で、子どもと高齢者をつなぐことを実践できなかったのですが、今後はリアルな交流の場を設けていきたいと考えています。

専攻での学びを成長にも クラス運営にも活かす

小学校教員になったのは、生涯学習の学びと、滋賀大学附属小学校での教育実習で小学生に接したことで、学習以外の面でも子どもの成長により深く関わるこ



ができると思ったからです。現在は、小学5年生のクラス担任をしています。教師としてもっとも心がけていることは、信頼関係の構築です。私と児童、そして児童同士が信頼し合うことで良好な人間関係が育まれ、授業もクラス運営も円滑に成立していきます。この信頼関係の構築には、密なコミュニケーションと、互いの良い面の発見・尊敬が欠かせません。このことを児童たちに伝え続けていると、一人ひとりが相手の立場や気持ちになって考えたり、行動することができるようになってきました。成績が上がることも大切であり、授業の方法についてはつねに工夫を凝らしています。ですが、こうした人としての成長を促すことも教師の使命であり、私の何よりの喜びです。だからこそ、滋賀大学教育学部独自の教育文化専攻において、教育の根幹を学び、教師になったことは、大きなプラスになっています。専攻の先生からいただいた「教師も生涯学習が不可欠」という言葉を胸に、私も学びと成長を続け、子どもたちに寄り添い、育んでいくことが目標です。



国際交流の学内制度と施設

さまざまな価値観に 触れる機会を



滋賀大学では海外の大学への留学や研修、そして海外からの留学生を迎えるために、さまざまな制度を用意しています。グローバルな学びを支える制度をご紹介します。

✈️ 海外での学びを支援

交換留学

交換留学制度を利用して学ぶ

世界14の国と地域にある24の大学等の機関と、全学レベルの学生交流協定を締結。学生の交流や教育研究などの相互協力をはかっています。学部2年生以上で、派遣条件を満たす学生は、制度を利用して1年以内の留学をすることができます。

Point

- 留学先大学で修得した単位が、所属学部の審議を経て認定される場合があります。
- 留学期間(1年以内)は本学の修業年限および在籍期間に参入されます。
- 滋賀大学に授業料を納めることで、留学先大学の授業料は免除となります。
- 留学にかかる費用の一部を支援する制度があります。

短期海外研修

異文化体験プログラムを実施

夏季休業期間などを利用して、目的意識をもって異文化を体験できる短期海外研修のプログラムを実施しています。海外の大学で授業を受けつつ、現地での生活や地域の文化に触れることで、日本の生活では得られない体験ができます。

研修先

- 夏季語学研修(ミシガン州立大学) 8月~9月
 - オーストラリア研究(ディーキン大学) 2月~3月
 - 韓国語・文化研修(啓明大学) 8月
 - フランス語文化研修(西部カトリック大学) 9月
 - イギリス研修(リーズトリニティ大学) 8月
 - 中国語研修(東北財経大学) 3月
 - メキシコ語学・文化研修(グアナフアト大学) 2月~3月
- ※新型コロナウイルスの感染拡大状況等を踏まえ、順次再開

✈️ 海外からの留学生との交流を促進

留学生と日本人学生の交流の活性化を図る拠点として、活用しています。多様な国際経験や異なる価値観に触れる機会を増やすことで、国際交流への関心や、国際感覚の醸成をめざします。

グローバルプラザ彦根



グローバルプラザ大津



留学体験記

海外の学生の意見で 深まる自己理解



松本 峻弥
経済学部 光泉カトリック高校(滋賀県)

以前から、国際貿易の分野にとっても興味を抱いていました。大学生になり、留学を通して実践的な英語力を身につけ、さらにサプライチェーンで機能する機関などを学ぶことで、将来、国際物流というフィールドで活かしたいという思いが強くなりました。留学をするにあたっては、国際交流課が主催する説明会で情報を収集。留学中は安全確認、日本帰国時には手続き方法といった注意事項の連絡など、手厚くサポートいただきました。留学準備では、英語力の強化に注力。自身の英語力を客観的に見ることから始め、自分に合った効率の良い方法を探して実践しました。留学先の授業は、学生からの質問やディスカッションの時間も多く、周りの人の疑問にも耳を傾けることで自身のさらなる理解に繋がると感じました。

- 留学期間：2021年8月2日~2022年2月4日
- 留学した大学：Sprott Shaw College(カナダ)
- 留学のタイプ：私費留学



サンクスギビングデー、ハロウィン、クリスマスなどのイベントが留学期間中にあり、日本でのイベントとの違いを感じられたのが印象に残っています

年間行事予定

- 4月 ・新入留学生オリエンテーション
・留学説明会
- 5月 ・共創グローバル人材プログラム募集説明会
- 7月 ・留学生対象就職活動ガイダンス
- 8月 ・海外留学事前研修
- 9月 ・秋学期履修説明会
・新入留学生オリエンテーション
- 10月 ・留学説明会
- 12月 ・留学生対象就職活動ガイダンス
- 通年 ・滋賀大学グローバルセミナー(概ね月1回程度)

ニュース & トピックス

滋賀大学のさまざまな取り組みや、キャンパスの様子など、注目のニュースをお届けします。



クリスマスツリーの贈呈式

クリスマスツリーでウクライナ支援 贈呈式と点灯式を実施

LED除菌脱臭灯などの販売を手掛けるI-Light株式会社より、除菌脱臭機能付きのクリスマスツリーを本学に寄贈いただきました。寄贈は「ウクライナからの避難学生の支援の一助に」というご意向によるもので、贈呈式にはウクライナから本学に避難している3人の学生が出席し、クリスマスツリー点灯式を実施。ツリーにはウクライナの国旗にあわせた青と黄色のイルミネーションライトがほのかに灯り、ウクライナをはじめ全世界の平和を願いました。式典には、本学公式キャラクター「カモンちゃん」もサンタクロース姿で駆けつけ、式典に華を添えたほか、彦根キャンパスのアカベラサークル「Decorate Box」による聖歌が披露され、聖夜のひとときをみんなで共有しました。除菌機能付きのクリスマスツリーのため、コロナ禍においてもウクライナの学生は安心して本学学生らと交流することができました。本学では引き続き、地域や企業の方々と協力・連携し、ウクライナからの避難学生に大学としてできる限りの支援を行ってまいります。

大塚製薬(株)と連携・協力に関する協定を締結明るく豊かな健康経営を目指す

2022年12月15日、大塚製薬株式会社京都支店(京都市下京区、支店長:塩田祐哉氏)と連携・協力に関する協定を締結し、彦根キャンパスで連携協定締結発表会を実施しました。これまでも、本学のスポーツ科学分野の専門科目「スポーツ身体論」に大塚製薬からの講師派遣や、経済学部社会システム学科の道上静香教授との共同研究・調査協力など、健康やスポーツの教育・研究において、互いに協力してきました。

今回の協定締結により、「ヘルシーキャンパス滋賀大学」の一環として健康経営に取り組み、学生・教職員の健康維持・増進に寄与することをめざします。具体的には同社の製品やアドバイスの提供、健康・スポーツ関連分野の教育・社会貢献活動事業の展開、健康増進啓発、スポーツ教育の普及、人材育成の活動などを行う予定です。

発表会では塩田支店長より「滋賀大学と一緒に健康のリテラシーを高める活動をしていきたい」、本学の須齋理事・副学長からは「教職員や学生、組織、そして地域の健康増進につながるよう、健康経営をキーワードとして地域貢献に広がる取り組みを進めていきたい」とあいさつがありました。



連携協定締結発表会の様子

経済学研究科ビジネス・データサイエンス専修プログラムで初めての修了生

令和4年度から大学院経済学研究科博士前期課程において募集を開始した「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」(1年制社会人コース)において、令和5年3月、初めて修了生を輩出しました。本プログラムは、同じキャンパスにあるデータサイエンス研究科の協力によって、1年間で修士の学位を取得できる集中型社会人コースで、社会人の持つ豊富な業務経験の上に、経済、経営の専門的知見とデータサイエンスの手法を融合させ、業務革新コーディネーターの育成をめざしています。

修了した学生は兵庫県に住みながら彦根キャンパスに通学し、週に数回、勤務先で業務を行いながら、需要予測について研究。修了に必要な単位を修得のうえ学位論文を執筆し、最終試験に合格しました。修了後は勤務先において、未来の需要予測に基づいた企画案の策定や、市況に対する分析に基づいた軌道修正の方向性の検討などに本研究の成果が活かされることが期待されます。

プログラム受講で身につく力

- 1 ビジネスカ** 課題背景を理解した上で、ビジネス課題を整理し、解決する力
- 2 データエンジニアカ** データサイエンスを意味ある形に使えるようにし、実装や運用できるようにする力
- 3 データサイエンスカ** 情報処理、人工知能、統計学などの情報科学系の知恵を理解し、使う力

【教育学部】

■おとさぼが「さわるオーケストラ」で盲学校に音楽をお届け

障がい児者の支援を目的とする教育学部附属音楽教育支援センター「おとさぼ」が、楽器を触って全身でオーケストラを感じる新しい音楽教育プログラム「さわるオーケストラ」を滋賀県立盲学校で実施。プロのオーケストラ「近江シンフォニエッタ」(代表:教育学部中根庸介准教授)の弦楽器奏者と打楽器奏者

が演奏を披露し、盲学校の生徒たちは楽しそうに身体を揺らしたり、リズムを取っていました。その後、実際に音を出す体験も行い、身体で音楽を感じ取りました。附属音楽教育支援センター長の林陸教授は、「触る」ことがとても有効に作用したと、プログラムの手ごたえを語りました。



■教育学部家庭科専攻4回生の濱中 綾さんが「日本家政学会関西支部 若手優秀発表賞」を受賞

「日本家政学会関西支部第44回研究発表会」で、教育学部家庭科専攻4回生の濱中 綾さんが、「日本家政学会関西支部 若手優秀発表賞」を受賞しました。濱中さんの口頭発表「小・中学校家庭科での『栄養を考えた食事』に関わる学習の理解と定着」は、本学の久保加織教授の指導のもと、滋賀大学教育学部附属小学校および附属中学校、上越教育大学 得丸定子名誉教授、神戸松蔭女子学院大学 奥井一幾准教授と実施した共同研究を発表したものです。

【経済学部】

■全国の経済系学部の学生が集う学術大会を企画・主催

2022年12月、彦根キャンパスで「第68回日本学生経済ゼミナール大会プレゼン部門決勝会」(通称インター大会)を開催しました。インター大会は全国の大学の経済学部、経営学部、商学部等に在籍する学生を対象とした学術大会で、プレゼン部門は全国から1,000人以上が参加する国内最大規模の発表会です。

今回は「不撓不屈」をテーマに、日頃の研究成果をパワーポイントにまとめ、発表技術や内容について競い合いました。今大会は、滋賀大学ゼミナール協議会が大会を企画、主催しました。



■経済学部 御崎加代子教授の論文が経営学のトップジャーナルに掲載

経済学部 御崎加代子教授の論文(ワルラスからシュンペーターへ —アントレプレナーシップの歴史的・思想的背景—)が、経営学のトップジャーナルである『組織科学』第56巻2号に掲載されました。本論文は、イノベーション論の元祖とされるシュンペーターの企業者概念の特徴と意義を、彼が影響を受けたフランスの企業者概念の歴史から考察し、現代のアントレプレナーシップ論の歴史的・思想的背景を明らかにすることを目的に執筆されました。

【データサイエンス学部】

■ジュニアデータサイエンティスト育成スクールで指導

今般、教育の現場ではGIGAスクール構想が進捗しています。この取り組みにあわせ、本学は彦根商工会議所、一般社団法人近江データサイエンスイニシアティブの三者で連携し、ジュニアデータサイエンティスト育成スクールを開講しました。データサイエンス学部生が講師を務め、参加した小・中学生は初めて

見るインターフェイスに戸惑いながらも、データサイエンティストの必須ツールであるプログラミング言語の基本操作の習得にチャレンジし、成し遂げました。昨年度より、遠方からの受講も可能となるようオンライン講座を設置し、拡充させたスクールを開講しています。



■米国・セントジュード子供研究病院と国際共同研究を開始

2023年1月、本学は米国・セントジュード子供研究病院からの依頼を受け、国際共同研究契約を締結。データサイエンス学部 和泉志津恵教授(専門:医療統計学)が、小児がん生存者研究(CCSS)に正式なメンバーとして参画します。CCSSは北米の31施設と協力し、小児がん診断から5年以降の生存者の健康状態の研究・改善を目的として、1994年から大規模な追跡調査を継続。多数の研究論文や付属研究を生み出しています。

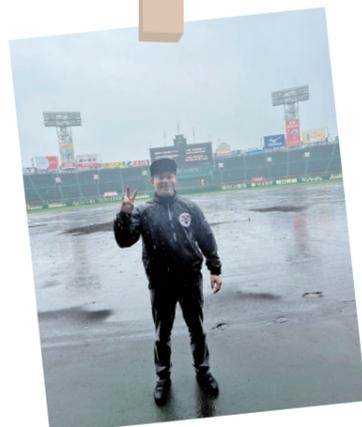
滋賀大生の日常 PICK UP!

滋賀大生が日々の様子を投稿してくれました！
ほっこりするものや、思わずずりとなるものなど、
滋賀大生の日常は色とりどりで、魅力がいっぱいです。
滋賀大生の日常を写真と共にぜひご覧ください！



♡ 20 👍 90

彦根キャンパスで見つけた猫です。
入口でくつろぎながら、学生が入って
くるのを見ているようでした。



♡ 10 👍 120

「全日本大学準硬式野球東西対抗日本一決定戦甲子園大会」
へ西日本代表の審判員として帯同しました。こちらは連盟設立
75周年を記念した行事となっており、憧れの聖地甲子園で、審
判員としてプレーする機会を与えていただきました。残念ながら
当日はあいにくの天気で行うことはできませんでしたが、実際に球場に入って思い出を作ることができました。これも
今まで私の野球人生に関わってくださった方々のおかげです。



♡ 30 👍 90

試験の時期に、彦根キャンパスの
生協で単位パンが売られていました。
もちろん、買いました。



♡ 90 👍 90

友達とカラオケに行った後、家の近く
で早朝にアライグマを見つけました。



♡ 90 👍 110

ハロウィンの日にハンドボール部1回生全員で
集まって撮りました。部活がない日でも集まれ
る友人がいるのは心強いです。大学に入って部
活をする人は少ないですし、部活があるからで
きないことも増えるかもしれません。それでも
仲間がいたから部活に入ってよかったと思うし、
これからも続けたいと思います。



♡ 90 👍 10

彦根キャンパスで見つけた紅葉がとても
美しかったので写真を思わず撮りました。



♡ 30 👍 100

大雪の日に朝からバイトで最悪な気分で
したが、キャンパスが雪景色になっていて、
きれいだったので救われました。

【制作】 学生広報サポートチーム
【デザイン】 大泉まどか / 佐山結香 / 谷村真菜 / 福田溪華
【メンバー】 大泉まどか / 小村悠祐 / 小林正章 / 佐山結香 / 菅沼祐大 / 島津心暖 / 谷村真菜 / 當麻友規 / 福田溪華 / 室井愛純

新メンバー募集中!

活動日時：各メンバーのスケジュールを調整
活動内容：学内・学外行事取材、広報誌制作、
SNSでの発信、オリジナルグッズ制作

Please follow us! /
滋賀大学生広報
サポートチームのSNS

Twitter 

Instagram 

note 

現役と卒業生をつなぐ 情報を発信

▶▶彦根キャンパス

NextRyosui

「NextRyosui」は、経済学部とデータサイエンス学部の同窓会組織「陵水会」により、「現役生と卒業生」「卒業生同士」をつなぐ情報共有・交流・学びのネットワークとして、設置されました。学内では、会員学生約90名で構成される「NextRyosuiサークル」を新たに立ち上げ、主に次の活動に取り組んでいます。①各界で活躍する卒業生や現役生の活動をインタビュー動画で紹介。②LINEやTwitter、YouTube（NextRyosuiチャンネル）を用いた情報発信。③陵水会の各支部情報の発信。④陵水会員向けデータサイエンス入門講座などの学習機会、リスキング機会の無償提供。2023年11月には経済学部の前身、彦根高等商業学校が創立100周年を迎えます。新たな時代の進化した大学像をめざして、彦根キャンパスで学んだ経験のある人たちの最強のネットワークを構築することで、大学の価値を画期的に高めていくことを目標にしています。



リーダーシップ論のインタビューを実施し、Youtubeで公開

NextRyosuiの情報はこちらから

2022年度はネットワークの立ち上げの年として、情報発信の基盤づくりでゼロベースで取り組みました。



公式Webサイト
<https://nextryosui.jp/>

@NextRyosui @nextryosui4498



滋大祭で実施した
邦楽部との和楽器体験会

京滋リーグ1位を目標に 質の高い練習を

▶▶大津キャンパス

準硬式野球部

私たち準硬式野球部は学生主体で週4回活動しています。シーズン中は守備や打撃といった基礎的な練習に加えて、実戦を意識した練習や紅白戦などを行っています。冬場のオフシーズンは日没が早く、限られた時間ではありますが、トレーニングを中心に質の高い練習に取り組んでいます。準硬式野球部の主な大会は、春季と秋季に行われる京滋六大学準硬式野球連盟のリーグ戦、6月に行われる和歌山大学との滋和戦、コロナ禍でここ3年は開催されていませんが、近畿地区国立大学体育大会があります。優秀な成績を取めると春季リーグは全国大会に、秋季リーグは関西大会へと繋がります。チームとしての目標は、現在所属している京滋リーグで1位になること。部員一人ひとりが個々の課題に向き合って、日々高みをめざして頑張っています。自分たちでチーム方針や取り組み方を考えてプレーすることや、好きな野球を大学でも楽しく続けられるのが準硬式野球の魅力の一つだと思います。



私たちと一緒に準硬式野球をしましょう！

2022年度の成績

3月・4月	春季リーグ戦	6位
6月	滋和戦	勝利
8月・9月	秋季リーグ戦	5位



Pick up

CLUB & CIRCLE

彦根と大津の2キャンパスで活動する部活やサークル、自治会から、4団体を紹介します。

日々の練習で2部昇格 着実にレベルアップ

▶▶彦根キャンパス

バレーボール部

昨年行われた関西大学バレーボール連盟の秋季リーグでは目標だった2部昇格を達成し、2部昇格が奇跡ではなく必然であったことを春リーグで証明するべく、一から練習メニューを考え、切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。また、今年はコロナが落ち着いてきていることもあり、主に関西や東海エリアのたくさんの方と練習試合を行う予定です。チームワーク力を深めることや個人の技能を向上させることを目的に頑張っています。私たちの部活動は、緩すぎず、厳しすぎない、一人ひとりがやりがいを感じられる部分に強みがあります。大学からの初心者も3名所属しており、試合でも活躍しています。部活動の時間が長い分、共有できる時間が長いので、部員同士の距離が縮まりやすく、部活動がないときには部員同士で出かけたり、旅行にいったりとても仲がいいです。マネージャーも募集しているので、少しでも気になったら気軽に遊びに来てください！



現在は選手9名、マネージャー6名で活動しています

2022年度の成績

4月	滋賀県大会(2勝1敗)	準優勝
10月	秋季リーグ(6勝0敗)	優勝
10月	秋季リーグ入替戦(2勝0敗)	2部昇格

※2023年4月 春季リーグ予定

秋季大会では熱戦が
繰り広げられました



楽しく歌って 美しいハーモニーを届ける

▶▶大津キャンパス

MEBA☆CHIKO

こんにちは！アカベラサークルMEBA☆CHIKOです。私たちは、年数回のライブに向けて日々活動しています。今年は、開学祭と秋学祭のステージに出演させていただきました。みんなで和気あいあい、楽しく歌えるあたたかい場所です。歌が得意でなくても大丈夫。いつでも入部可能なところも特徴です。アカベラは基本的に、ボイスパーカッション、ベース、リード(メロディーパート)、コーラスで成り立っています。だいたい5、6人でバンドを組み、メンバーで空きコマなどを合わせてライブに向けて練習します。活動は水曜日ですが、その時間に来られない人でもバンド練習があるので安心して入部できます。例年3月に、サークルライブという、外部のお客さまにも来ていただける演奏会を開催しています。少しでも“めばちこ”に興味を持ってくださる方がいましたら、Twitter、Instagramをやっています。ぜひ一度見に来てください！



秋学祭の集合写真

2022年度のライブ出演

4月	新歓ライブ	11月	秋学祭出演
6月	開学祭	12月	クリスマスライブ
8月	他大学交流ライブ	2月	他大学交流ライブ
10月	ハロウィンライブ	3月	サークルライブ

●毎週水曜日、午後4時30分から6時30分に集会室で活動
@memebachiko @mebachiko_official